

義肢装具士に必要な評価学～脳卒中基本編～ 脳卒中片麻痺者に対する装具介入と設計のための評価

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会
研修委員会

平成27年度、研修委員会では「義肢装具士に必要な評価学～基礎編～」と題した全国セミナーを開催し、評価をおこなう意義を中心に解説しました。平成28年度は、続編となります「基本編」を開催致します。基礎(ファンデーション)は、いわゆる「土台」ですが、基本(ベーシック)として、その上に築く「幹」の部分を学びます。今セミナーでは脳卒中に焦点をあて、脳卒中片麻痺者に対する装具の介入効果の判定と設計をする上で必要な病態の評価、つまり「何が出来ないのか?」、「なぜ出来ないのか」、「どうすれば出来るのか」を検討していくことで基本を学びます。

達成レベルと期間に対するゴール設定があって初めて介入に対する意味を成すため、評価学では「初期評価における適切な予後予測に基づいた長期目標の重要性」が認識されています。そのうえで、装具に必要な機能を明確にし、求められる機能に応じた採型肢位を決定していくこととなります。

本セミナーでは「脳卒中片麻痺者に対する装具介入と設計」における基本的な評価についての理解に向けた解説と、義肢装具士の評価に対する関わり方を改めて考えるヒントとなるようなご講演を頂きます。皆様の参加を心よりお待ちしております。

記

- 到達目標 : ① 臨床現場で装具介入のための症候学、障害学的観点からの評価ができる。
② 装具の機能を含めた設計において、スクリーニング方法を理解できる。
③ 装具採型肢位決定のための角度決定理論を理解できる。

内 容 : **講演Ⅰ：「片麻痺者に対する装具設計のための評価」**

講 師 : **春名弘一先生** : 北海道科学大学 理学療学科 講師 (PT)

概 要 : 症候学として、対象者の目的とする動作や行動の「何ができないのか?」、そして障害学として「なぜ出来ないのか?」について講義と演習を行います。

講演Ⅱ：「脳卒中片麻痺者に対する装具の角度設定理論について」

昆恵介先生 : 北海道科学大学 義肢装具学科 准教授 (PO)

概 要 : 脳卒中片麻痺者に対する短下肢装具の角度設定について、どのように決定していくべきなのか?スクリーニング(選定)理論について、端末演習を通して学習します。

演習：「脳卒中片麻痺者に対する装具の角度設定演習」

概 要 : 脳卒中片麻痺者に対する装具設計のための教材映像を用いて、参加者全員によるグループワークの手法で、対象者の装具の機能を検討します。

日 時 : 平成29年3月12日(日) 10:00～16:00 (予定)

会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

定 員 : 100名

参加費 : 正会員・購読会員 ¥5,000 - 学生会員 ¥2,000 - 非会員 ¥10,000 -

締 切 り : 平成29年1月末(予定)

以上

【申込方法】

<E-mail での参加申込>

E-mail にて参加申込ご希望の方は、必要事項（①会員非会員の別、②会員番号、③氏名(ふりがな)、④所属先、⑤連絡先住所、⑥電話番号、⑦連絡先 E-mail アドレス）をご記入の上、下記申込受付先まで送信ください。

<QR コードでの参加申込>

QR コードをスマートフォン等で読み取りアクセスすることで、申込フォームからの参加申込が可能です。フォームに入力するだけで簡単に申込手続きができます。



※申込後、1週間しても連絡がない場合は、申込・問い合わせ先の担当までご連絡ください。

【 申込み受付先・問い合わせ先 】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 東北支部

申込・問い合わせ先：内田 源生（研修副委員長）

セミナー幹事 ：保谷 純一（研修委員長）

申込・問い合わせ先 E-mail ： scjnj142@ybb.ne.jp